

令和7年 第1回定例会

# 一般質問文書表

稲城市議会

| 通告番 | 氏名     | 質問項目 (19人、59項目)  | 備考 |
|-----|--------|--|----|
| 1   | 池田 英司  | <ul style="list-style-type: none"> <li>1 市の緑の適正な管理について</li> <li>2 三沢川のさくらについて</li> <li>3 より魅力的な学校給食について</li> </ul>   |    |
| 2   | つのだ 寛美 | <ul style="list-style-type: none"> <li>1 0～2歳児の第1子保育料無償化について</li> <li>2 平和に関するイベントについて</li> <li>3 こども家庭センターについて</li> <li>4 教育相談体制について</li> <li>5 平尾団地内のスーパーについて</li> </ul>   |    |
| 3   | 山岸 太一  | <ul style="list-style-type: none"> <li>1 訪問介護事業の危機的な状況と支援について</li> <li>2 老朽化したインフラの補修による安全なまちをつくっていく取り組みについて</li> <li>3 義務教育の完全無償化でお金の心配なく子育てできる社会へ</li> <li>4 平尾団地商店街へのスーパー誘致について</li> </ul>                              |    |
| 4   | 坂田たけふみ | <ul style="list-style-type: none"> <li>1 ジャイアンツタウンスタジアム開業に対する今後の取り組みについて</li> <li>2 学校給食について</li> </ul>  |    |
| 5   | 角田 政信  | <ul style="list-style-type: none"> <li>1 矢野口地区における区画整理について</li> <li>2 フィリピン・セブ州コルドバ町との教育交流協定締結について</li> </ul>  |    |
| 6   | 佐藤 しんじ | <ul style="list-style-type: none"> <li>1 ひとり親家庭への支援について</li> <li>2 公共下水道の管理について</li> <li>3 TOKYO GIANTS TOWN のグランドオープンに向けた、地域経済・観光の発展への取り組みについて</li> <li>4 交通事故から市民を守る取り組みについて</li> <li>5 自閉症・情緒障害特別支援学級の設置について</li> </ul> |    |
| 7   | 湯谷 ひろし | <ul style="list-style-type: none"> <li>1 すべての児童生徒がSOSを発信しやすく、悩みを打ち明けやすい環境を目指して</li> <li>2 アカシア通り及びびいちょう並木通りにおける歩行者の安全対策について</li> <li>3 闇バイトなどによる強盗や特殊詐欺等の防犯対策について</li> <li>4 帯状疱疹ワクチンの定期接種化について</li> </ul>                 |    |
| 8   | 川村 あや  | <ul style="list-style-type: none"> <li>1 市内の植栽管理状況について</li> <li>2 公民連携の更なる活用について</li> </ul>  |    |
| 9   | 梶浦 みさこ | <ul style="list-style-type: none"> <li>1 「ストリートピアノ(街角ピアノ等)」の設置・運用について</li> <li>2 父親の産後うつ(パタニティブルー)予防と父親の子育て支援について</li> <li>3 若葉台公園「芝生テラス」の環境整備と多目的広場北側遊歩道(散策路)の活用について</li> </ul>   |    |
| 10  | 中島 健介  | <ul style="list-style-type: none"> <li>1 稲城市の火山対策について</li> <li>2 稲城市の学校現場におけるICTの環境について</li> </ul>   |    |
| 11  | 岡田 まなぶ | <ul style="list-style-type: none"> <li>1 路線バス・バスを地域公共交通として守る取り組みについて</li> <li>2 補聴器購入助成など加齢性難聴の聞こえの支援について</li> <li>3 子どもの学ぶ権利、不登校支援、少人数学級推進について</li> <li>4 稲城駅南口の桜を残すことについて</li> </ul>                                     |    |

|    |         |   |  |
|----|---------|---|--|
| 12 | 村上 洋子   | <ul style="list-style-type: none"> <li>1 「主体的・対話的で深い学び」について</li> <li>2 インクルーシブ教育について</li> <li>3 幼保小の架け橋プログラムについて</li> <li>4 学校給食の無償化による食材基準、食材調達への影響について</li> </ul> |  |
| 13 | 武田 まさひと | <ul style="list-style-type: none"> <li>1 住宅を借りる際に困難を感じている方に対する支援について</li> <li>2 稲城市の公共施設や教育現場におけるインターネット環境の整備について</li> </ul>  |  |
| 14 | 土居 のりひろ | <ul style="list-style-type: none"> <li>1 道路陥没事故の対策について</li> <li>2 三沢川さくら通りの桜の維持管理について</li> <li>3 三沢川(西の橋から矢野口橋間)の人道橋設置について</li> <li>4 農と食と健康を守る取組について</li> </ul>    |  |
| 15 | 岩佐 ゆきひろ | <ul style="list-style-type: none"> <li>1 自治会の支援について</li> <li>2 公共交通利便性の向上について</li> </ul>  |  |
| 16 | 田島 きく子  | <ul style="list-style-type: none"> <li>1 市民の命を守る国民健康保険制度に向けて</li> <li>2 選択的夫婦別姓制度について</li> <li>3 「ジャイアンツタウンスタジアム」開業後の交通渋滞対策について</li> </ul>                          |  |
| 17 | 榎本 久春   | <ul style="list-style-type: none"> <li>1 骨粗しょう症の取組について</li> <li>2 介護保険サービスを利用する場合に重要な役割を果たしている要介護認定について</li> </ul>  |  |
| 18 | いそむらあきこ | <ul style="list-style-type: none"> <li>1 学校の適正配置について</li> <li>2 育ちやすい 育てやすいまちづくりについて</li> <li>3 妊娠期からの切れ目のない支援の拡充について</li> </ul>                                    |  |
| 19 | 鈴木 誠    | <ul style="list-style-type: none"> <li>1 稲城市の防災に関する取組みについて</li> <li>2 公道上への迂回路・案内標識等の設置について</li> <li>3 平尾地区の諸課題(商業・防犯)について</li> </ul>                               |  |

|      |       |         |
|------|-------|---------|
| 通告番号 | 会 派 名 | 氏 名     |
| 1    | 新政会   | 池 田 英 司 |

| 項 目<br>番 号 | 質 問 要 旨  | 摘 要 |
|------------|--|-----|
| 1          | <p>市の緑の適正な管理について</p> <p>公園緑地の樹木、街路樹、学校の樹木など、市の緑は街の景観を向上させるほか、遮熱、遮音、遮光や二酸化炭素の吸収、昆虫や野鳥の生息地、更に、雨水の流出を緩和するとともに、火災の延焼を防ぐなど、生活環境を守る機能や市民生活に潤いをもたらす重要な役割や機能を持っています。</p> <p>市内では、これまでに都市開発とともに多くの植樹が行われてきましたが、これらの樹木は時間の経過とともに、巨木となり、老木となり、傷んできている樹木も散見されます。今後、市としては、これらの樹木を適正に管理して、樹木の持つ機能や役割を最大限に生かし、市民生活に役立てる姿勢が必要と考えます。</p> <p>また、豊かで健全な緑を将来へと継承していくためには、市民の方々が、樹木が持つ機能、役割、必要性、維持管理について理解を深め、市民共有の財産であることの意識を高めて、市民と行政が協働して緑を大切にし、緑の質を高めていく機運を作り上げていくことだと思っております。</p> <p>毎年、市へ落ち葉や枝折れ、倒木などの相談や苦情があると認識しております。樹木は邪魔なもの、迷惑なもの、行政に任せておけば良いとの認識だけが広まることは好ましくありません。市民と行政がともに緑を守るという意識を持ち、樹木の育成を見守り、適正な維持管理を協働で始めることが必要になってきているのではないのでしょうか。</p> <p>そこで次のことについて質問いたします。</p> |     |

|   |  |  |
|---|--|--|
|   | <p>(1) 緑の役割について、市の認識を伺います。</p> <p>(2) 公園、緑地の樹木管理の基本的な考え方について伺います。</p> <p>(3) 市民と行政がともに緑を守るという意識を持って、適正な維持管理に協働して取り組んでいくことが必要と考えますが、市の見解を伺います。</p>  |  |
| 2 | <p>三沢川のさくらについて</p>   |  |
|   | <p>令和6年第2回定例会の一般質問において、三沢川のさくらの今後の維持管理の進め方について質問させていただき、「歩行者等の通行の安全を考慮した伐採や太枝の剪定などを必要に応じて進めるとともに、伐採などで減ってしまった桜を補完するための計画の策定に向け、取り組む」という主旨のご答弁をいただいております。</p> <p>昨年末にも、歩行者等の安全を考慮して、消防署付近の大きく育って歩道側に少し傾き始めていた、さくらの伐採が行われたところでございます。歩行者等の通行の安全を確保することは最も大事なことでありと認識はしているのですが、市民からは、このまま多くの桜の木が伐採されていくのかと危惧する声も多く聞きます。</p> <p>そこで、桜を補完するための計画を早期に策定し、市民に周知していくことが必要であると考え質問いたします。</p> <p>(1) 計画策定の進捗状況について伺います。</p> <p>(2) 伐採した箇所に新たに桜の木を植える場合必要となる作業について伺います。</p> <p>(3) 財源確保としてクラウドファンディングなど寄附を募り、取り組むべきだと考えますが市の見解を伺います。</p> |  |

|   |   |  |
|---|---|--|
| 3 | <p>より魅力的な学校給食について</p> <p>児童生徒にとって、学校生活における楽しみのひとつに、給食の時間があると思います。美味しい給食を食べ、給食を通して、食に対する正しい知識と望ましい食習慣を身につけることは重要であると考えます。そこで、栄養バランスに配慮し、食育等の要素を取り入れながら、より魅力ある学校給食になることを求めて質問させていただきます。</p> <p>(1) 物価高騰が続く中、食材を確保するためにどのような工夫・取り組みをされているのか伺います。</p> <p>(2) 魅力的な学校給食とするため、取り組んでいることについて伺います。</p> <p>(3) 学校給食における取り組みについて、児童生徒をはじめ、保護者にどのように広報や周知をしているのか伺います。</p> |  |
|---|---|--|

|      |       |           |
|------|-------|-----------|
| 通告番号 | 会 派 名 | 氏 名       |
| 2    | 公 明 党 | つ の じ 寛 美 |

| 項目<br>番号 | 質 問 要 旨  | 摘 要 |
|----------|--|-----|
| 1        | <p>0～2歳児の第1子保育料無償化について</p> <p>東京都の令和7年度予算案は、令和7年9月から0～2歳児の第1子保育料を年齢や所得に関わらず、都内全ての家庭で無償化します。保護者の就労等に関わらず未就園児を保育所等に預けられる都の「多様な他者との関わりの機会の創出事業」も同様に無償化となります。また、都の認証保育所や、企業主導型保育施設等一定の基準を満たしている認可外施設については、利用者の負担軽減策を拡充します。市区町村の支援と合わせると最大8万円の支援額となり、原則、無償化される形です。0～2歳児の保育料の無償化は、公明党の推進で令和元年10月に始まった国の幼児教育・保育の無償化に合わせて、都議会公明党の提案で都が独自に上乘せし、多子世帯の支援から段階的に拡充してきており、今回で完全無償化として結実します。</p> <p>(1)現状について伺います。</p> <p>(2)今後の取組について伺います。</p> |     |
| 2        | <p>平和に関するイベントについて</p> <p>公明党代表は、核なき世界を指向する機運を生かし、平和創出の潮流をつくり出していくことが公明党の使命です。党として今春に「平和創出ビジョン」を発表し、国際世論を喚起したいと考えています。</p> <p>(1)稲城市が実施している一般の方を対象とした</p>   |     |

| 項目<br>番号 | 質 問 要 旨                  | 摘 要 |
|----------|--------------------------|-----|
|          | 平和に関する取組について伺います。        |     |
|          | (2) 今後の取組について伺います。       |     |
| 3        | こども家庭センターについて            |     |
|          | 令和6年4月に施行された改正児童福祉法によ    |     |
|          | り全ての妊産婦・子育て世帯・子どもに対して切   |     |
|          | れ目のない子育て支援を行う「こども家庭センタ   |     |
|          | ー」の設置に努めることとなり、稲城市では、「子  |     |
|          | ども家庭支援センター」と「おやこ包括支援セン   |     |
|          | ター」が一体的に子育て世帯を支援しています。   |     |
|          | (1) こども家庭センターの現状とメリットについ |     |
|          | て伺います。                   |     |
|          | (2) 課題と今後の取組について伺います。    |     |
| 4        | 教育相談体制について               |     |
|          | (1) 現在、教育相談室に電話で相談しても予約が |     |
|          | 取れないと伺います。市民は、今すぐに話を聞いて  |     |
|          | ほしくて相談をしていると思いますが、即日対    |     |
|          | 応など、相談体制の現状を伺います。        |     |
|          | (2) 二箇所の教育相談室を運営していますが、相 |     |
|          | 談に行きたくても行かれない方への対応で家庭    |     |
|          | 訪問や市の施設での相談を行っているのか。ま    |     |
|          | た、行っていなければその理由を伺います。     |     |
|          | (3) 相談体制等今後の改善策について伺います。 |     |
|          | (4) 現在、スクールソーシャルワーカーが配置さ |     |
|          | れていますが、不登校支援などの問題でそれぞれ   |     |
|          | の専門性を生かした形での教育相談室との連携    |     |
|          | について伺います。                |     |
|          | (5) スクールソーシャルワーカーだけでなく、教 |     |



| 項目<br>番号 | 質 問 要 旨   | 摘 要 |
|----------|---|-----|
|          | 育相談員の方が学校訪問や家庭訪問を行っているのか伺います。また、行っていないければその理由を伺います。   |     |
|          | (6)教育相談室には様々な相談がきていると思いますが、児童福祉との連携における取組について伺います。  |     |
|          | (7)スクールソーシャルワーカーとの連携など今後の取組について伺います。  |     |
| 5        | <p>平尾団地内のスーパーについて</p> <p>平尾団地内に店舗を構えておりました、(株)スーパーヤマザキは、近隣にお住いの方の買い物拠点でありました。そのため、スーパーヤマザキが、令和4年11月末に撤退後、平尾にお住いの方々から、新たな事業者の参入を求める声を沢山いただいていたいました。私は、これまで、都議会公明党議員、市長や担当部署にもお願いしてきました。</p> <p>この空き店舗の所有者は、東京都住宅供給公社(JKK)であることから、市ではJKKと情報共有するとともに連携し、新たな事業者の参入や移動販売車の導入などに市も取り組んでいただいていたかと思えます。そうした中、スーパーヤマザキの跡地に新たな事業者が参入するということではありますが、これまでの取組や参入する新たな事業者について伺います。</p> <p>(1)これまでの取組について伺います。</p> <p>(2)新たな事業者について伺います。</p> |     |

|      |       |      |
|------|-------|------|
| 通告番号 | 会 派 名 | 氏 名  |
| 3    | 日本共産党 | 山岸太一 |

| 項目番号 | 質 問 要 旨  | 摘 要 |
|------|--|-----|
| 1    | <p>訪問介護事業の危機的な状況と支援について</p> <p>市内で介護事業や助け合い活動に携わってきた事業所が、訪問介護事業を閉鎖終了することが明らかになりました。危機的な状況にある訪問介護事業所に対して早急な支援を求める立場から質問します。</p> <p>(1) 訪問介護事業の減少について</p> <p>①市内の介護事業所が令和7年3月31日で訪問介護事業等を終了することについて、市としての把握状況を聞きます。</p> <p>②「地域包括ケア『見える化』システム」に基づく南多摩保健医療圏5市の直近の訪問介護事業所数について聞きます。</p> <p>③現状のままでは訪問介護事業所のさらなる事業閉鎖が起きるのではないかと考えますが認識を聞きます。</p> <p>(2) 介護報酬「地域区分」の見直しについて</p> <p>①介護報酬における「地域区分」の位置づけについて聞きます。</p> <p>②令和6年12月23日の社会保障審議会介護給付費分科会において、「地域区分」について議論された内容を聞きます。</p> <p>③「地域区分の見直し」についての市としての認識を聞きます。</p> |     |
| 2    | <p>老朽化したインフラの補修による安全なまちをつくっていく取り組みについて</p> <p>埼玉県八潮市での道路陥没事故は、老朽化した下水管の腐食により発生したのではないかとされています。水道管や下水管などのインフラの適切な点検と補修を進め、市民の安全な暮らしを維持することを求める立場から質問します。</p> <p>(1) 市内の水道管・下水管の状況について</p> <p>①市内の水道管の敷設状況について聞きます。</p> <p>②市内の下水管の敷設状況について聞きます。</p>   |     |

| 項目<br>番号 | 質 問 要 旨  | 摘 要        |
|----------|--|------------|
| 3        | <p>(2) 老朽化した水道管・下水管の補修について</p> <p>① 老朽化した水道管や下水管の補修状況について聞きます。</p> <p>② 老朽化したインフラの点検補修などの維持管理は、国の責任で実施していくことが必要だと考えるが認識を聞きます。</p> <p>義務教育の完全無償化でお金の心配なく子育てできる社会へ</p> <p>日本共産党が長年求めてきた学校給食費の無償化が実現をして、多くの喜びの声が寄せられています。次は給食費以外の保護者の負担を軽減・無償化して、日本国憲法が定める義務教育の完全無償化の実現を求める立場から質問します。</p> <p>(1) 小中学校での様々な保護者負担について</p> <p>① 小中学校で保護者が購入する副教材の主な内容と金額について聞きます。</p> <p>② 小中学校の宿泊行事や修学旅行等で保護者が負担する金額について聞きます。</p> <p>③ 中学校の各学校の男女の制服の平均的な金額について聞きます。</p> <p>(2) 負担軽減の取り組みについて</p> <p>① 低所得世帯へ行っている負担軽減の内容について聞きます。</p> <p>② 所得にかかわらず義務教育の保護者負担をすべて無償にしていくことについて認識を聞きます。</p> | 教育長の答弁を求める |
| 4        | <p>平尾団地商店街へのスーパー誘致について</p> <p>平尾団地商店街のスーパーヤマザキが閉店してから2年以上が経過しましたが、ようやく新たなスーパーマーケットの出店が明らかになりました。住民の買い物拠点を守るために、市としても積極的に対策していくことを求める立場から質問します。</p> <p>(1) 平尾団地商店街旧スーパーヤマザキ跡地への商業施設の誘致出店状況について聞きます。</p> <p>(2) スーパーヤマザキ撤退以降に市として商業施設の誘致出店について行ってきた取り組みを聞きます。</p>  |            |

|      |       |        |
|------|-------|--------|
| 通告番号 | 会 派 名 | 氏 名    |
| 4    | 新政会   | 坂田たけふみ |

| 項目<br>番号 | 質 問 要 旨   | 摘 要 |
|----------|---|-----|
| 1        | <p>ジャイアンツタウンスタジアム開業に対する今後の取り組みについて</p> <p>令和7年3月1日に、ついに稲城南山東部土地区画整理事業区域内にジャイアンツタウンスタジアムが開業しました。令和9年には水族館や飲食施設もオープンすることが予定されています。稲城市の新たなランドマークとして、今後、読売ジャイアンツの2軍戦を始め、様々なイベントが開催され、賑わいの創出に繋がるとともに、市内経済の活性化等に繋がることも期待しています。そのためには、来場者に、ジャイアンツタウンスタジアムからそのまま帰宅するのではなく、飲食をしていただく等、市内に足を運んでいただくための取り組みも必要であると考えます。</p> <p>一方では、市内外から多くの人を訪れることで課題も出てくるのが考えられます。様々な事業の主催者は、読売ジャイアンツを始めとする民間事業者となると思いますが、市として行うべきことも出てくるのではないのでしょうか。</p> <p>また、令和9年のグランドオープン後の、新たな公民連携についても期待するところです。</p> <p>(1) 令和7年度の主な事業について伺います。</p> <p>(2) 試合開催予定などの近隣住民への周知について伺います。</p> <p>(3) 来場者へのマナーの周知について伺います。</p> <p>(4) 来場者に市内に足を運んでもらうための取り組みについて伺います。</p> <p>(5) 新たな公民連携について伺います。</p> |     |

| 項目<br>番号 | 質 問 要 旨  | 摘 要 |
|----------|--|-----|
| 2        | <p>学校給食について</p> <p>学校給食は成長期にあたる児童生徒たちの健やかな心と身体の育成のために大変重要です。給食を提供するにあたり、栄養バランスに配慮し、且つ美味しく食べてもらう為に様々な工夫をされている事と思います。そして給食の時間が生徒たちにとって待ち遠しく楽しいひと時であってほしいとも思います。令和5年第4回定例会で給食の残渣、いわゆる食べ残しについて質問しましたが、その後の傾向や取り組みについて質問します。</p> <p>(1) 残渣について</p> <p>①直近3年間の給食残渣量について伺います。</p> <p>②給食残渣を減らす取り組みについて伺います。</p> <p>(2) 他自治体における学校給食の取り組みについて</p> <p>子どもたちに喜んでもらえるような、魅力的な給食献立にするため、他自治体の状況や取り組み等をどのように把握しているのか伺います。</p> |     |

|      |       |       |
|------|-------|-------|
| 通告番号 | 会 派 名 | 氏 名   |
| 5    | 新政会   | 角田 政信 |

| 項目<br>番号 | 質 問 要 旨   | 摘 要 |
|----------|---|-----|
| 1        | 矢野口地区における区画整理について                                   |     |
|          | (1)稲城榎戸地区について                                       |     |
|          | ①進捗状況について伺います。                                      |     |
|          | ②都市計画道路及び公園の整備予定について伺います。                           |     |
|          | ③事業完了予定について伺います。                                    |     |
|          | (2)稲城矢野口駅周辺地区について                                   |     |
|          | ①進捗状況について伺います。                                      |     |
|          | ②旧スーパー堤防C工区のより具体的な整備スケジュールについて伺います。                 |     |
|          | ③事業完了予定について伺います。                                    |     |
|          | (3)稲城南山東部地区について                                     |     |
|          | ①東京都より市が受託している区間の多3・4・12号読売ランド線の現状と今後の整備予定について伺います。 |     |
|          | ②多7・4・5号東長沼矢野口線の現状と今後の整備予定について伺います。                 |     |
| 2        | フィリピン・セブ州コルドバ町との教育交流協定締結について                        |     |
|          | (1)経緯について伺います。                                      |     |
|          | (2)概要について伺います。                                      |     |
|          | (3)期待される効果について伺います。                                 |     |

|      |     |       |
|------|-----|-------|
| 通告番号 | 会派名 | 氏名    |
| 6    | 公明党 | 佐藤しんじ |

| 項目番号 | 質問要旨   | 摘要 |
|------|--|----|
| 1    | <p>ひとり親家庭への支援について</p> <p>物価高騰が長引く中、市民の生活は厳しさを増しています。とりわけ、母子家庭や父子家庭等のひとり親家庭においては、より厳しい生活状況にあると思います。そのことから、ひとり親家庭への支援は、平常時はもとより、物価高騰の只中においては、より優先度が高くなる取り組みであると考えます。</p> <p>(1)ひとり親家庭を取り巻く課題について、市の認識を伺います。</p> <p>(2)市の主な支援や取り組みについて伺います。<br/> ①主たる経済的支援としての手当について伺います。<br/> ②手当以外の支援について伺います。<br/> ③今後の取り組みについて伺います。</p> <p>(3)物価高騰対策について伺います。<br/> ①これまでの対策について伺います。<br/> ②今後の対策について伺います。</p> |    |

| 項目<br>番号 | 質 問 要 旨  | 摘 要 |
|----------|--|-----|
| 2        | <p>公共下水道の管理について</p> <p>令和7年1月28日、埼玉県八潮市において道路陥没事故が発生し、トラック一台が巻き込まれるとともに、約120万人が下水道（洗濯や入浴）の使用自粛が求められるなど、市民生活に大きな影響を及ぼしました。当該道路陥没は地下約10メートルに、昭和58年に整備された管の内径4.75メートルの流域下水道幹線が埋設されており、その下水道管の腐食等が原因と言われております。</p> <p>(1)流域下水道管理者が管理する、晴天時の1日最大処理量が30万立方メートル以上の大規模な下水処理場に接続する、口径2メートル以上の下水道管路について、腐食等の施設の異常により道路陥没の恐れがないか、目視等による緊急点検を実施するよう、国土交通省から通知が発出されましたが、市内には、それに該当する下水道管路はあるのか伺います。</p> <p>(2)過去5年間での公共下水道管路施設における、管の腐食が原因となる道路陥没事故の発生の有無について伺います。</p> <p>(3)公共下水道施設における維持管理の考え方について伺います。</p> |     |



| 項目<br>番号 | 質 問 要 旨  | 摘 要 |
|----------|--|-----|
| 3        | <p>TOKYO GIANTS TOWN のグランドオープンに向けた、地域経済・観光の発展への取り組みについて</p> <p>TOKYO GIANTS TOWN の中核施設となるジャイアンツタウンスタジアムが令和7年3月1日に開業いたしました。そして令和9年には、水族館や飲食施設も併せた新たな拠点としてグランドオープンする予定であります。TOKYO GIANTS TOWN の活況とともに、稲城市の地域経済や観光の発展にも、多くの市民の皆様から期待が寄せられています。</p> <p>(1)地域経済の活性化にも寄与すると言われるデジタル地域通貨について伺います。</p> <p>①デジタル地域通貨について、市の認識を伺います。</p> <p>②東京都内自治体における、デジタル地域通貨の導入状況について伺います。</p> <p>③デジタル地域通貨の導入について、市の見解を伺います。</p> <p>(2)市が作成する散歩マップなどには、市の魅力を知っていただく様々なコースが設定されております。稲城市における新たなランドマークともいえる施設である TOKYO GIANTS TOWN を、マップのコース上に追加することで、当該施設の来訪者を市内回遊に繋げる一つのツールにもなると思いますが、市の考えを伺います。</p> |     |

| 項目<br>番号 | 質 問 要 旨   | 摘 要 |
|----------|---|-----|
| 4        | <p>交通事故から市民を守る取り組みについて</p> <p>TOKYO GIANTS TOWNの開業を契機に、市内の交通環境もこれから大きく変わることが予想されます。そのことから、交通環境の変化に対応した交通安全対策が求められます。</p> <p>(1)多7・4・5号東長沼矢野口線の延伸に伴う交通安全対策について伺います。</p> <p>① 多7・4・5号東長沼矢野口線の延伸の時期について伺います。</p> <p>②三沢川さくら通りとの交差点における、過去3年間の交通事故の発生件数について伺います。</p> <p>③本郷根方通りとの交差点は今後、交通量が増えていく事が見込まれるため、本郷根方通り側に車両用信号機の設置が必要となると考えますが、市の見解を伺います。</p> <p>(2)近年、ながらスマホによる重大事故が後を絶ちません。これから交通量や人の流れも増えていく稲城市において、ながらスマホへの対策は重要です。周知啓発等、ながらスマホを防止するための対策に取り組むべきと考えますが、市の見解を伺います。</p> |     |

| 項目<br>番号 | 質 問 要 旨  | 摘 要 |
|----------|--|-----|
| 5        | <p>自閉症・情緒障害特別支援学級の設置について</p> <p>知的障害特別支援学級の小中学校への設置や、すまいるルームの小中学校全校への設置等、稲城市の特別支援教育は、着実にその充実が図られて参りました。そして更なる充実、発展におきましては、自閉症・情緒障害特別支援学級の設置が求められると考えます。</p> <p>(1)市に届く保護者からの意見や要望等について伺います。<br/> ① 特別支援教室「すまいるルーム」について伺います。<br/> ② 自閉症・情緒障害特別支援学級の設置について伺います。</p> <p>(2)自閉症・情緒障害特別支援学級の設置について、市において行われてきた議論や審議等の内容について伺います。</p> <p>(3)東京 26 市の自閉症・情緒障害特別支援学級設置状況について、令和 7 年度設置予定も併せて伺います。</p> <p>(4)令和 6 年度における、小中学校の知的障害特別支援学級の児童・生徒数と学級数について、学校別に伺います。</p> <p>(5)自閉症・情緒障害特別支援学級設置について、市の見解を伺います。</p> |     |

|      |     |        |
|------|-----|--------|
| 通告番号 | 会派名 | 氏名     |
| 7    | 公明党 | 湯谷 ひろし |

| 項目<br>番号 | 質 問 要 旨  | 摘 要 |
|----------|--|-----|
| 1        | <p>すべての児童生徒がSOSを発信しやすく、悩みを打ち明けやすい環境を目指して</p> <p>令和7年1月、厚生労働省は「警察庁の自殺統計に基づく自殺者数の推移等」を発表しました。これによると令和6年に自ら命を絶った小中学生が過去最高であったことがわかりました。子どもの自殺に歯止めがかからない現状は、極めて深刻です。</p> <p>今大切なのは、子どものSOSを確実に捉え、適切な支援に早くつなげることであると考えます。すべての生徒がSOSを発信しやすく、さらに悩みを打ち明けやすい環境整備が必要であるとの立場から質問を致します。</p> <p>(1)児童生徒が早期にSOSを発信できるための教育について</p> <p>①SOSの出し方に関する教育の実施状況について</p> <p>②不登校児童生徒等に対するSOSの出し方に関する教育について</p> <p>(2)児童生徒の悩みの相談窓口体制について</p> <p>①現在の相談窓口体制について</p> <p>②不登校児童生徒等が悩みを相談できる窓口について</p> <p>(3)児童生徒のSOSを早期にキャッチし、相談に結びつけるためのデジタル活用について</p> |     |

| 項目<br>番号 | 質 問 要 旨  | 摘 要 |
|----------|--|-----|
|          | ①現在の活用状況について   |     |
|          | ②活用の幅を広げていくことについて  |     |
| 2        | アカシア通り及びいちょう並木通りにおける歩行者の安全対策<br>について   |     |
|          | アカシア通りやいちょう並木通りは、通学路として多くの<br>小学生が利用していますが、朝は、通勤等で通行車両が増え<br>るとともに速度を上げて通過する様子も見受けられます。                      |     |
|          | 特にアカシア通りは、歩道の幅が狭い区間があり、児童等が<br>車両に接触する危険もあります。さらなる安全対策が必要で<br>あるとの立場から質問を致します。                               |     |
|          | (1)アカシア通りにおける車両通行量について   |     |
|          | (2)アカシア通り（いちょう並木通りとの交差点から北緑地<br>公園駐車場入り口まで）及びいちょう並木通り（アカシア<br>通りとの交差点から稲城押立西交差点まで）における過去<br>3年間の交通事故発生件数について |     |
|          | (3)アカシア通り（稲城第六小学校の通学路）において制限<br>速度を超過し、通行する車両が見受けられます。車両のスピー<br>ドダウン対策を講ずることが急務であると考えますが、市の<br>認識を伺います。      |     |
|          | (4)いちょう並木通り等における歩行者の安全対策について   |     |
|          | ①東長沼431番地付近の横断歩道について、信号機設置が  |     |

| 項目<br>番号 | 質 問 要 旨  | 摘 要 |
|----------|--|-----|
|          | <p>必要であると考えます。市の認識を伺います。</p> <p>②いちょう並木通りとアカシア通りをつなぐ市道（大丸298-1付近のT字交差点から大丸294付近のT字交差点まで）について、時間指定の車両通行禁止にすることが必要であると考えます。市の見解を伺います。</p>  |     |
| 3        | <p>闇バイトなどによる強盗や特殊詐欺等の防犯対策について</p> <p>令和7年2月に警察庁が発表した令和6年の刑法犯認知件数によると、令和6年は財産を狙う犯罪の増加が目立ち、窃盗や詐欺などによる被害は、前年比59.6%増の約4,021億円に上りました。</p> <p>公明党は、闇バイト対策強化に向け、募集情報の即時削除や防犯カメラ・青パト整備への支援を政府に求めて参りました。</p> <p>本市においてもさらなる防犯対策の強化が必要であるとの立場から質問を致します。</p> <p>(1)市内における特殊詐欺及び侵入窃盗の発生状況について</p> <p>①令和6年1月から12月までの市内の特殊詐欺の被害件数と金額、また前年との比較及び傾向について</p> <p>②令和6年1月から12月までの市内の侵入窃盗犯罪の件数について</p> <p>(2)特殊詐欺及び侵入窃盗犯罪防止を目的とした市の施策について</p> |     |
|          | ①街頭防犯カメラの設置状況について  |     |

| 項目<br>番号 | 質 問 要 旨  | 摘 要 |
|----------|--|-----|
|          | ②特殊詐欺対策のため、令和6年度に実施された自動通話録音機の給付事業について   |     |
|          | (3)地域を見守る青パト巡回の現状と今後の強化について、市の考えを伺います。   |     |
| 4        | <p>帯状疱疹ワクチンの定期接種化について</p> <p>令和6年12月、厚生労働省の第65回厚生科学審議会予防接種・ワクチン分科会予防接種基本方針部会において、帯状疱疹を予防接種法のB類疾病に位置づけ、令和7年4月1日から定期接種化を開始すること等が了承されました。</p> <p>公明党は、ワクチンの有用性を踏まえ、国会質疑で定期接種化を強く主張して参りました。希望する高齢者が一人でも多く接種を受けられるよう、定期接種化を推進する立場から質問を致します。</p> <p>(1)本市ホームページに掲載されている、令和7年4月1日からの帯状疱疹ワクチンの制度変更について、詳細を伺います。</p> <p>(2)定期接種化についての市の対応を伺います。</p> |     |

|      |     |      |
|------|-----|------|
| 通告番号 | 会派名 | 氏名   |
| 8    | 稲志会 | 川村あや |

| 項目番号 | 質問要旨  | 摘要 |
|------|---|----|
| 1    | 市内の植栽管理状況について   |    |
|      | <p>稲城市は、みどり率と言われる緑化指数が55%程と高く東京都の中でも上位であります。</p> <p>稲城市緑の基本計画では「水と緑に恵まれた稲城の環境を将来へと継承していくこと、さらに、新しい水と緑の空間の質を高め、市民共有の財産としてより親しみやすくなることを目指し」とあります。</p> <p>しかしながら、緑を適切に維持管理していく事は容易ではなく、樹木をめぐる事故が全国各地で相次いでいます。</p> <p>特に、車道や歩道上の越境繁茂は、通行に支障をきたし、事故等の原因となる可能性があり大変危険です。また繁茂した樹木等が、側溝や排水柵を覆って、落葉等が堆積し、道路面の雨水等の排水を阻害し、水たまりとなってしまう事もあります。</p> <p>そのような懸念から市民の安心安全を守るべく質問させていただきます。</p> <p>(1) 道路植栽について</p> <p>道路植栽は、道路緑化を目的に、道路計画や地域特性にあわせて導入され、道路の機能向上や環境保全、形成といった役割を持っているほか、騒音の低減や大気の浄化、木陰を作るなどの効果があり、なかでも植物ならではの「親しみ」「潤い」「生命感」「やすらぎ」を感じる効果をもたらすことが最大の特徴と、日本道路協会が挙げています。</p> <p>市の現状および考え方について伺います。</p> <p>① 中高木の樹種別樹木数について伺います。</p> <p>② 剪定状況について伺います。</p> |    |



| 項目<br>番号 | 質 問 要 旨   | 摘 要 |
|----------|---|-----|
|          | <p>③現状の課題について伺います。<br/>④今後の維持管理予定について伺います。</p> <p>(2) 公園植栽について<br/>公園の植栽は、良好な景観を形成する事や大気を浄化させるという役割もありますが、災害や延焼の防止・風の勢いを抑え、雨を吸収・浸透させる等の目的も大きく担っています。</p> <p>市の現状および考え方について伺います。<br/>①中高木の樹種別樹木数について伺います。<br/>②剪定状況について伺います。<br/>③現状の課題について伺います。<br/>④今後の維持管理予定について伺います。</p> <p>(3) 市の管理するその他の植栽について<br/>①中高木の樹種別樹木数について伺います。<br/>②剪定状況について伺います。<br/>③現状の課題について伺います。<br/>④今後の維持管理予定について伺います。</p> |     |

| 項目<br>番号 | 質 問 要 旨   | 摘 要 |
|----------|---|-----|
| 2        | <p><b>公民連携の更なる活用について</b></p> <p>本市では令和5年10月1日よりスタートした公民連携デスクの設置により、個々の行政課題の解決はもちろん、公民連携の推進を通じ、職員の方々にも幅広いテーマで当市の課題解決に取り組むスキームや新しい価値観や発想をもたらすきっかけになっていると思います。</p> <p>実際、毎年のように実績として提携先も増えていることから、更なる市民サービスの向上へつなげていただきたく質問させていただきます。</p> <p>(1) 実績について</p> <p>①連携数の推移について伺います。</p> <p>②連携内容について伺います。</p> <p>(2) 今後について</p> <p>①庁舎内での活用について伺います。</p> <p>②市民サービス向上のための活用について伺います。</p> |     |

|      |     |       |
|------|-----|-------|
| 通告番号 | 会派名 | 氏名    |
| 9    | 無所属 | 梶浦みさこ |

| 項目番号 | 質問要旨  | 摘要 |
|------|---|----|
| 1    | <p>「ストリートピアノ(街角ピアノ等)」の設置・運用について</p> <p>「ストリートピアノ(街角ピアノ等)」は、誰でも自由に演奏することができるよう公共の場に設置されているピアノで、日本国内はもとより世界中でその数が増加しています。</p> <p>地域にストリートピアノを設置することは、市内外から演奏者や聴衆が集まる新たな観光資源、老若男女問わず演奏を楽しめる生涯学習・芸術文化活動、ストリートピアノを介したコミュニティやボランティアの醸成など、総じて地域の活性化・賑わいの創出、文化水準の向上に寄与するものと考えます。</p> <p>一方でピアノの音色を心地よく感じる方だけではなく、騒音と捉える方もいることから設置・運用には近隣の方々や施設利用者の理解が大前提であり、演奏音が許容される空間に設置し、1人15分、正午前後と夕方の時間帯など演奏時間を設定し運用している場合が多く見られます。</p> <p>都市基盤整備により、緑豊かで空間にゆとりがあるまちづくりを進めてきた稲城市は「ストリートピアノ(街角ピアノ等)」の設置・運用に適した環境が多いことと考え市の見解を伺います。</p> <p>(1)市公共施設のピアノの利用や運用の状況について</p> <p>令和5年度一般会計決算書によると49台のピアノが物品登録されております。市公共施設のピアノの利用や運用の状況について伺います。</p> <p>(2)ピアノによる生涯学習・文化芸術活動の推進について</p> |    |

| 項目<br>番号 | 質 問 要 旨  | 摘 要 |
|----------|--|-----|
|          | <p>iプラザホールには世界最高峰とされるスタインウェイ&amp;サンズのグランドピアノがあり、プロ演奏家からも高い評価をいただいていると聞いております。ストリートピアノには省スペースに設置できるアップライトピアノの場合が多く、市内各施設にはアップライトピアノが多く保有されていることと考えます。稲城市の貴重な資源・財産である各施設のピアノを活用し市民の生涯学習・文化芸術活動を推進することについて伺います。</p>   |     |
|          | <p>(3)「ストリートピアノ(街角ピアノ等)」による観光振興について</p> <p>郷土の森観光物産館テラスの「FUCHU STREET ピアノ」(府中市)、旧国立駅舎広間の「プレイピアノ」(国立市)は大変好評であると伺っております。評判のユーチューバーにより動画配信されたストリートピアノは観光先として人気が高く、また「ストリートピアノ巡り」で愛好家の方が全国各地を旅行されるなど、ストリートピアノは観光資源となりうるポテンシャルを秘めていると考えます。いなぎ発信基地ペアテラスなど稲城市の観光スポットを活用し、ストリートピアノによる観光振興について伺います。</p> |     |
|          | <p>(4)市内商業施設やTOKYO GIANTS TOWNなど公民連携によるストリートピアノの設置・運用について</p> <p>アメリア稲城(矢野口)や三和稲城店(向陽台)、フレスポ若葉台(若葉台)、ソコラ若葉台(坂浜)など近年規模の大きな商業施設が市内に増加するとともに、テレビ朝日若葉台メディアセンター・若葉台センター商業ビル・コーチャンフォー若葉台店を利用する方々でiプラザふれあいロードは休日など大変賑わっております。またTOKYO GIANTS TOWNには水族館</p>   |     |

| 項目<br>番号 | 質 問 要 旨  | 摘 要 |
|----------|--|-----|
|          | <p>の開館が予定されるなど、市内外から多くの利用客の来場が見込まれる施設が市内に多く誕生していることから、公民連携によるストリートピアノの設置・運用により地域の活性化・賑わいの創出、文化水準を向上することについて伺います。</p>   |     |
| 2        | <p>父親の産後うつ(パタニティブルー)予防と父親の子育て支援について</p> <p>過去において子育ての中心は「母親」であり、社会全体の子育てのあり方や支援は、母親を中心としてその制度やシステムが構築されてきました。国の「こども未来戦略方針」では、子育てにおける固定的な性別役割分担意識からの脱却を目指しており、父親の子育てへの関わりやその社会的期待は大きく、父親を取り巻く環境の急激な変化によって、子どもが生まれた後に父親がメンタル不調に陥るリスクが指摘されています。</p> <p>稲城市で育つ子どもたちの健やかな成長と子育て家庭への支援をさらに充実させる取り組みとして、父親の産後うつ(パタニティブルー)予防と父親の子育て支援について市の見解を伺います。</p> <p>(1)父親の産後うつ(パタニティブルー)について</p> <p>母親の場合、出産によってホルモンバランスの大きな変化があることに加え、手助けが少ないなど周囲の環境などが引き金となって産後うつ状態になる可能性があると言われていています。父親の産後うつと子育てへの影響について見解を伺います。</p> <p>(2)父親の産後うつ(パタニティブルー)予防について</p> <p>産後は母子へのケアや支援に加え、父親の健康管理や支</p> |     |

|   | 質 問 要 旨  |  |
|---|--|--|
|   | <p>援の体制をさらに整えていくことも重要だと考えます。</p> <p>1歳未満の子どもがいる家庭でメンタル不調のリスクがあった父親の割合は母親と同程度という調査(国立成育医療研究センター)もあることから、子どもの養育環境が大きく損なわれることのないよう、家族全体のウェルビーイングを目指した母子保健・子育て支援事業を展開していただきたいと考え、父親への支援を含めた父親の産後うつ(パタニティブルー)予防について伺います。</p>  |  |
| 3 | <p>若葉台公園「芝生テラス」の環境整備と多目的広場北側遊歩道(散策路)の活用について</p> <p>若葉台公園多目的広場の北側「芝生テラス」と「遊歩道(散策路)」は南向きで日当たりが良く地域の健脚なご高齢者の散策コースとして人気があり、また子ども達にとっては秘密基地のような魅力ある場所となっています。しかし最上部の展望デッキ付近は樹木が鬱蒼と生い茂り見通しが悪く、防犯上の懸念の声をいただいております。若葉台地域の魅力と安全の向上に向け、芝生テラスと展望台・遊歩道(散策路)の環境整備等について伺います。</p> <p>(1)芝生テラスと展望台・遊歩道の整備の経過と現状について</p> <p>芝生テラスは標高約120mの高さにあり、落葉した冬季は若葉台地域や坂浜・平尾方面を一望できる眺め良い場所となっています。また遊歩道は登山の雰囲気味わえる散歩コースとして地域の方々から好評をいただいております。芝生テラスと展望台・遊歩道の整備の経過と現状について伺います。</p> |  |

|  | 質 問 要 旨   |  |
|--|---|--|
|  | <p>(2)芝生テラスや展望台など多目的広場北側の防犯対策と樹木の剪定等について</p> <p>展望台デッキ前は樹木が生い茂り全く見通せない状況となっています。展望台の北側、多摩カントリークラブ境界線付近には樹木が少なくフェンスが見える状態となっております。展望台南側の高木の剪定・伐採、展望台北側には低木の植樹など防犯対策を施すことにより、人目が届きやすい環境となれば安全性が高まり子どもからご高齢者など地域の方々が安心して利用できるようになることと考えます。芝生テラスや展望台など多目的広場北側の防犯対策と樹木の剪定・伐採・植樹について伺います。</p> |  |
|  | <p>(3)芝生テラスと遊歩道のさらなる環境整備について</p> <p>芝生テラスのウッドフェンス(転落防止柵)や展望台のウッドデッキは経年劣化が進んでおり、遊歩道は歩行者により土が踏み固められ大変滑りやすい状況となっています。供用開始から20年以上が経過した若葉台公園。芝生テラスのロケーションを活かせるよう、芝生テラスと遊歩道のさらなる環境整備について伺います。</p>   |  |
|  | <p>(4)若葉台公園多目的広場北側遊歩道の活用について</p> <p>遊歩道の最高地点、展望台デッキ付近の標高は約132m、スタート地点の第三駐車場(標高約97m)から高低差約35mの土道は、上り下り15分間ほどで登山の風情を味わえる遊歩道となっています。遊歩道に「若葉台公園 武蔵野の路 自然散策路(案)」等の案内看板を設置し、武蔵野の雑木林的な景観と眺望をPRし、地域の方々の健康増進や緑豊かな自然に憩える遊歩道として、さらに活用を促進していただきたいと考えます。市の見解を伺います。</p>                               |  |

|      |     |       |
|------|-----|-------|
| 通告番号 | 会派名 | 氏名    |
| 10   | 稲志会 | 中島 健介 |

| 項目番号 | 質問要旨   | 摘要 |
|------|--|----|
| 1    | 稲城市の火山対策について   |    |
|      | <p>東京都では富士山の大規模噴火時において都内に降灰が発生した場合の対策について検討し、東京都地域防災計画火山編の修正に反映させていくため、東京都関係各局及び有識者等からなる「富士山噴火降灰対策検討会」が設置されており、当該委員会から令和5年12月に「大規模噴火降灰対応指針」が示されました。</p> <p>地震や風水害は頻繁に発生し、被害も広範囲に及ぶため、防災意識が高まりやすい一方で、火山災害は噴火の兆候を捉えにくく、予測が難しいため、その重要性が見過ごされがちです。</p> <p>噴火が引き起こす火山灰などは広範囲に深刻な影響を及ぼし、長期的な経済的損失を引き起こす可能性があるため、火山災害のリスクを過小評価することなく、正しく恐れ、そのための備えをすることは非常に重要であると考えます。</p> <p>そこで、稲城市の地域防災計画が見直されるタイミングで、改めて稲城市の火山災害に対する基本的な考えを伺うとともに、降灰などの影響やその対応策、市民への情報発信などについて伺ってまいります。</p> |    |
|      | (1) 稲城市地域防災計画について  |    |
|      | ①稲城市地域防災計画「火山災害等編」の目的について  |    |
|      | ②稲城市地域防災計画「火山災害等編」の策定にあたっての被害想定について  |    |
|      |  |    |
|      |  |    |



| 項目<br>番号 | 質 問 要 旨                               | 摘 要 |
|----------|---------------------------------------|-----|
|          | (2) 富士山等の噴火による稲城市で想定される被害について         |     |
|          | ①降灰による稲城市内の道路への影響について                 |     |
|          | ②降灰による稲城市内の人の移動への影響について               |     |
|          | ③降灰による稲城市内の電力への影響について                 |     |
|          | ④降灰による稲城市内の通信への影響について                 |     |
|          | ⑤降灰による稲城市内の上水道への影響について                |     |
|          | ⑥降灰による稲城市内の下水道への影響について                |     |
|          | ⑦降灰による稲城市内のガスへの影響について                 |     |
|          | ⑧降灰による稲城市内の建物への影響について                 |     |
|          | ⑨降灰による稲城市民の健康への影響について                 |     |
|          | (3) 富士山等の火山災害等への対応策と行政・家庭等の役割について     |     |
|          | ①富士山等の火山災害等に対する稲城市の基本方針について           |     |
|          | ②富士山等の火山災害等で推測される市内への降灰量について          |     |
|          | ③富士山等の火山災害等に対して稲城市が市民に求める役割について       |     |
|          | ④稲城市・家庭における降灰の処理の方法について               |     |
|          | ⑤富士山等の火山災害等における市民の避難にあたっての基本的な考え方について |     |
|          | ⑥富士山等の火山災害等に対して稲城市が自主防災組織に求める役割について   |     |
|          | ⑦降灰の市内仮置き場の計画について                     |     |
|          |                                       |     |
|          |                                       |     |

| 項目番号 | 質問要旨                         | 摘要 |
|------|------------------------------|----|
|      | (4) 情報発信・啓発活動について            |    |
|      | ① 富士山等の火山災害等における市民への情報発信について |    |
|      | ② 稲城市防災訓練における火山災害等への啓発活動について |    |
|      |                              |    |
|      |                              |    |
|      |                              |    |
|      |                              |    |
|      |                              |    |
|      |                              |    |
|      |                              |    |
|      |                              |    |
|      |                              |    |
|      |                              |    |
|      |                              |    |
|      |                              |    |
|      |                              |    |
|      |                              |    |
|      |                              |    |
|      |                              |    |
|      |                              |    |
|      |                              |    |
|      |                              |    |
|      |                              |    |
|      |                              |    |
|      |                              |    |
|      |                              |    |
|      |                              |    |
|      |                              |    |
|      |                              |    |
|      |                              |    |
|      |                              |    |
|      |                              |    |
|      |                              |    |
|      |                              |    |
|      |                              |    |
|      |                              |    |
|      |                              |    |
|      |                              |    |

| 項目<br>番号 | 質 問 要 旨   | 摘 要 |
|----------|---|-----|
| 2        | 稲城市の学校現場における ICT の環境について  |     |
|          | <p>全国的に義務教育における「人」台端末整備がほぼ完了しましたが、端末の故障やバッテリー劣化、教員の ICT スキル格差など、いくつかの課題も浮き彫りとなっています。</p> <p>今後文科省では、デジタル教科書などの活用を前提とした通信環境の強化について掲げるほか、紙の利用や転記作業などの業務のデジタル化、クラウドを活用したロケーションフリーの校務処理についてや端末の更なる活用を通じた質の高い教育の提供を目指しています。</p> <p>さらに、自治体間格差の解消が進められており、各地域で異なる ICT 活用状況を改善するための支援が行われています。</p> <p>そこで、改めて稲城市の児童・生徒が扱う ICT 機器の通信環境などの整備状況や稲城市の目指す ICT 教育について伺ってまいります。</p> |     |
|          | (1) 児童・生徒の扱う ICT 機器の通信環境について  |     |
|          | ①文科省が求める学校規模毎の<br>当面の推奨帯域について   |     |
|          | ②文科省の求める学校規模毎の当面の<br>推奨帯域を稲城市の公立小中学校は<br>満たすことができているのかについて  |     |
|          | ③児童・生徒数の変化によって、通信速度に<br>変化が生じると考えられるが、<br>通信環境が悪化した場合の改善策について   |     |
|          |   |     |
|          |   |     |
|          |   |     |
|          |   |     |
|          |   |     |

| 項目<br>番号 | 質 問 要 旨  | 摘 要 |
|----------|--|-----|
|          | (2) 教職員の負担軽減に資する校務 DX について                     |     |
|          | ① 教職員の負担軽減に資する校務 DX の<br>現状について                |     |
|          | ② 教職員の負担軽減に資する校務 DX の<br>課題について                |     |
|          | ③ クラウドを活用したロケーションフリーで仕事を<br>することができる環境の整備について  |     |
|          | ④ 教職員の負担軽減に資する校務 DX の<br>今後について                |     |
|          | (3) 学校現場の ICT 環境の自治体格差について                     |     |
|          | ① 全国の自治体の中で、稲城市の ICT を<br>活用した教育水準に対する自己評価について |     |
|          | ② 稲城市は今後 ICT を活用して、<br>どのような学校を目指すのかについて       |     |
|          |  |     |
|          |  |     |
|          |  |     |
|          |  |     |
|          |  |     |
|          |  |     |
|          |  |     |
|          |  |     |
|          |  |     |
|          |  |     |
|          |  |     |
|          |  |     |
|          |  |     |
|          |  |     |
|          |  |     |
|          |  |     |
|          |  |     |
|          |  |     |
|          |  |     |
|          |  |     |
|          |  |     |
|          |  |     |
|          |  |     |
|          |  |     |

|      |       |       |
|------|-------|-------|
| 通告番号 | 会 派 名 | 氏 名   |
| 11   | 日本共産党 | 岡田まなぶ |

| 項目番号 | 質 問 要 旨  | 摘 要 |
|------|--|-----|
| 1    | <p><b>路線バス・iバスを地域公共交通として守る取り組みについて</b></p> <p>令和6年3月から稲城市内の路線バスが減便になり、市民から「不便になった」「元に戻してほしい」との切実な声が引き続き寄せられている。</p> <p>路線バスに続きiバスも減便などが危惧されている。</p> <p>市民の暮らしを支える地域公共交通として、路線バス・iバスを守る取り組みを求めて質問する。</p> <p>(1) 路線バス・iバスを、稲城市は、市民の暮らしを支える地域公共交通として守る姿勢に立つべきと考えるが基本姿勢は。</p> <p>(2) 稲城市として、子ども・若者、子育て世帯、障害者や高齢者をはじめ、すべての市民の交通権（移動権）の実現をめざす姿勢に立って「地域公共交通計画」を策定すべきと考えるが認識は。</p> <p>(3) 地域公共交通の危機を打開するために、バスの運転手不足対策が急がれる。葛飾区が運転手の賃金引き上げ・待遇改善に踏み出した。国や自治体の支援でバス運転手の賃金を引き上げ、待遇改善を進めることが求められていると考えるが認識は。</p> <p>(4) iバス見直しは、現行のiバス路線と本数を維持できるように取り組むとともに、代替案（デマンド交通など）も同時に検討しながら、地域公共交通として、市民サービスを守る取り組みを求めるが、iバス路線見直しの検討状況およびスケジュールは。</p> |     |

| 項目<br>番号 | 質 問 要 旨   | 摘 要 |
|----------|---|-----|
| 2        | <p>(5) 稲城市の路線バス・iバスはじめ、全国各地のバス減便や路線廃止の危機から、地域公共交通を守るためには、独立採算というこれまでの考え方を転換し、「公共サービス」にふさわしく、財政支援を強化することが求められる。東京都市長会などを通じて、国、東京都に路線バス・iバス（コミュニティバス）への支援・補助の拡充・強化を求めるべきと考えるが認識は。</p> <p><b>補聴器購入助成など加齢性難聴の聞こえの支援について</b></p> <p>東京都内各地で補聴器購入助成が広がっている。加齢性難聴への聞こえの支援は、高齢化社会のもと、高齢者の生活の質を保つうえで重要である。</p> <p>この視点から質問する。</p> <p>(1) 高齢者の生活の質を保つうえで、加齢性難聴への聞こえの支援は大切と考えるが認識は。</p> <p>(2) 高齢者の加齢性難聴の聞こえに関する啓発や学習会、講演会等の取り組みについて。</p> <p>(3) 加齢性難聴の方の生活の質を保つうえで、難聴発症後の早期診断、補聴器使用などが重要と考えるが認識は。</p> <p>(4) 補聴器の普及を進める上で金額が高いことが課題となっている。東京都の「高齢者聞こえのコミュニケーション支援事業」も活用して、高齢者の加齢性難聴を対象にした補聴器購入助成を実施すべきと考えるが認識は。</p> |     |

| 項目<br>番号 | 質 問 要 旨   | 摘 要 |
|----------|---|-----|
| 3        | <p><b>子どもの学ぶ権利、不登校支援、少人数学級推進について</b></p> <p>(1) 小中学校の不登校児童・生徒が増え続け過去最多を更新している。一方、教員不足も、ますます深刻になっている。子どもが安心して学校を休む権利、自分らしく生きられる権利を大切にしながら、子どもたちが行きたくなる学校に、若い人が先生になりたくなる学校にしていくことが大事だと考えるが認識は。</p> <p>(2) 公益社団法人子どもの発達科学研究所が国の委託事業として行った調査で、児童生徒の回答から、先生との関係や画一的な学校の決まりが不登校リスクを高める要因になっていることが指摘されているが認識は。</p> <p>(3) 学級規模を小さくして、きめ細かな教育ができるようにすること、ゆとりがあり、自由にのびのび学べて、先生たちも豊かに専門性を発揮できる学校づくりが重要と考えるが認識は。</p> <p>(4) 東京都中学校長会は、中学1年生への加配では、「きめ細かく対応できている」「教員に精神的なゆとりが生まれてきている」などの効果があり、中学校全学年での35人学級の早期実現を求めている。中学校全学年での35人学級の早期実現を求めるが認識は。</p> |     |
| 4        | <p><b>稲城駅南口の桜を残すことについて</b></p> <p>稲城駅南口駅前広場改良工事が行われているが、市民から、稲城駅南口のバス降車場前の桜を残してほしいとの声が寄せられている。市の認識は。</p>  |     |

|      |       |      |
|------|-------|------|
| 通告番号 | 会 派 名 | 氏 名  |
| 12   | 無 所 属 | 村上洋子 |

| 項 目<br>番 号 | 質 問 要 旨  | 摘 要 |
|------------|--|-----|
| 1.         | <p>「主体的・対話的で深い学び」について</p> <hr/> <p>改訂学習指導要領では、「学校で学んだことが、子供たちの『生きる力』となって、明日に、そしてその先の人生につながってほしい」という願いを込めて、「生きる力」を育むために「主体的・対話的で深い学び」を重視しています。</p> <p>稲城市における「主体的・対話的で深い学び」への認識と取り組みについて、これまでの成果や課題、今後の取組などについて伺います。</p> <p>(1) 「主体的・対話的で深い学び」の概要について伺います。</p> <p>(2) 「主体的・対話的で深い学び」についての稲城市での取組について伺います。</p> <p>(3) 今後の取組について伺います。</p> |     |



| 項目<br>番号 | 質 問 要 旨  | 摘 要 |
|----------|--|-----|
| 2.       | <p data-bbox="310 255 848 293"><b>インクルーシブ教育について</b></p> <hr/> <p data-bbox="310 376 1248 524">多様な子どもたちが共に学ぶ「インクルーシブ教育」はこれからの未来を生きる子どもたちに不可欠の教育であると考えます。</p> <p data-bbox="310 546 1248 636">稲城市におけるインクルーシブ教育について伺います。</p> <p data-bbox="310 770 1248 860">(1) インクルーシブ教育についての教育委員会の認識について伺います。</p> <p data-bbox="310 949 1248 1039">(2) インクルーシブ教育推進のための専門家との連携について伺います。</p> <p data-bbox="310 1106 879 1151">(3) 今後の取組について伺います。</p> |     |
| 3.       | <p data-bbox="310 1281 1000 1319"><b>幼保小の架け橋プログラムについて</b></p> <hr/> <p data-bbox="310 1415 1248 1563">幼児教育と小学校教育の円滑な接続を目的として、文部科学省が推奨する「幼保小の架け橋プログラム」について伺います。</p> <p data-bbox="357 1697 1248 1787">(1) 幼保小の架け橋プログラムの概要について伺います。</p> <p data-bbox="357 1863 1188 1908">(2) 稲城市でのこれまでの取組について伺います。</p> <p data-bbox="357 1975 926 2020">(3) 今後の取組について伺います。</p>  |     |

| 項目<br>番号 | 質 問 要 旨   | 摘 要 |
|----------|---|-----|
| 4.       | <p>学校給食の無償化による食材基準、食材調達への影響について</p>   |     |
|          | <p>稲城市の学校給食は「稲城市学校給食用物資に関する基準」に従い、国内産原材料であることや国内産かつ無添加、遺伝子組み換えでないことや、農薬の使用、鮮度などに十分に留意し、出来るだけ良質なものをを用いることに努力されてきました。</p> <p>東京都と稲城市の補助により保護者負担を無償化することで、これらの食材の基準や調達などに影響はないのかを確認するとともに、より良質で持続可能な食材の確保の取組について伺います。</p> <p>(1) 学校給食費の無償化により食材調達の基準や、給食の内容に関する決定のしくみに変更はあるのか伺います。</p> <p>(2) 現在の稲城市の学校給食に関する協議体と、その役割について伺います。</p> <p>(3) 「稲城市学校給食用物資に関する基準」について伺います。</p> <p>(4) 「稲城市学校給食用物資納入に関する基準」について伺います。</p> <p>(5) 減農薬米の使用に関する取組について伺います。</p> <p>(6) 姉妹友好都市などからの物資調達について伺います。</p> <p>(7) 今後の食材調達についての課題について伺います。</p> <p>(8) より良質で持続可能な食材の確保についての今後の取組について伺います。</p> |     |

|      |       |        |
|------|-------|--------|
| 通告番号 | 会 派 名 | 氏 名    |
| 13   | 無所属   | 武田まさひと |

| 項目<br>番号 | 質 問 要 旨  | 摘 要 |
|----------|--|-----|
| 1.       | 住宅を借りる際に困難を感じている方に対する支援について  |     |
|          | 稲城市では、土地区画整理事業などにより住宅が増え、人口も増加しています。しかし、その一方で住宅を借りる際に困難を感じている方も少なくありません。こうした方々への支援が重要だと考え、質問します。 |     |
|          | (1) 住宅を借りる際に困難を感じている市民からの相談件数や内容、対応の実績について   |     |
|          | ①稲城市において、高齢者、低所得者など住宅確保が難しい方の現状をどのように把握しているか、また、こうした市民からの住宅相談の件数や対応実績について伺います。                   |     |
|          | ②現在、市が提供している住宅支援策（公営住宅、家賃補助、居住支援の取り組みなど）はどのようなものがあるか伺います。  |     |
|          | ③稲城市独自の取り組み内容や成果及び課題について伺います。  |     |
|          | ④住宅確保が難しい世帯に対する不動産業者・大家との連携をしているケースはあるのかを伺います。   |     |
|          | (2) 現在、稲城市が提供している住宅支援策について   |     |
|          | ①公営住宅、家賃補助、居住支援の取り組みなどの詳細について伺います。   |     |
|          | ②住宅支援についての課題認識を伺います。   |     |
|          | (3) 住宅確保が困難な市民への支援策について  |     |
|          | ①住宅確保要配慮者向け賃貸住宅の登録制度について概要を伺います。   |     |

| 項目<br>番号 | 質 問 要 旨   | 摘 要 |
|----------|---|-----|
|          | ② 低所得者や子育て世帯に向けた家賃補助等の実施予定があるか伺います。   |     |
| 2.       | 稲城市の公共施設や教育現場におけるインターネット環境の整備について   |     |
|          | 近年、インターネット環境は急速に進化し、行政サービスや市民活動、教育現場においても不可欠なインフラとなっています。稲城市では、公民館や体育館などに地域 BWA の Wi-Fi ルーターが設置され、無料貸出用の Wi-Fi ルーターも配備されています。しかし、現状の環境が市民にとって十分に利便性の高いものとなっているのか、また、改善すべき点があるのではないかとこの観点から、以下の点について質問します。 |     |
|          | (1) 公民館における Wi-Fi 環境の現状と改善について  |     |
|          | ① 公民館の Wi-Fi 環境について、電波状況の調査及び結果について伺います。  |     |
|          | ② 調査結果を踏まえ、Wi-Fi 環境の改善計画があるのか、今後の方針について伺います。  |     |
|          | (2) 総合体育館のメインアリーナにおける Wi-Fi 整備について  |     |
|          | ① 大規模イベント開催時に貸出用 Wi-Fi の容量が不足し、利用できないという声があることについて、市としてどのように認識しているのか伺います。   |     |
|          | ② 有料施設であることから利用者負担ではなく、市として恒常的な Wi-Fi 設備の導入や行政側での補助を検討する考えはあるか伺います。   |     |
|          |   |     |
|          |   |     |

| 項目<br>番号 | 質 問 要 旨   | 摘 要 |
|----------|---|-----|
|          | (3) 小中学校の Wi-Fi 環境の整備について                               |     |
|          | ①中学生からの「Wi-Fi 環境の整備を求める声」に対し、市教育委員会としてどのように考えているのか伺います。 |     |
|          | ②授業時の通信速度低下の課題を解決するため、市として Wi-Fi 環境の整備を進める考えはあるのか伺います。  |     |
|          |   |     |
|          |   |     |
|          |   |     |
|          |   |     |
|          |   |     |
|          |   |     |
|          |   |     |
|          |   |     |
|          |   |     |
|          |   |     |
|          |   |     |
|          |   |     |
|          |   |     |
|          |   |     |
|          |   |     |
|          |   |     |
|          |   |     |
|          |   |     |
|          |   |     |
|          |   |     |
|          |   |     |
|          |   |     |
|          |   |     |
|          |   |     |

|      |       |        |
|------|-------|--------|
| 通告番号 | 会 派 名 | 氏 名    |
| 14   | 稲 志 会 | 土居のりひろ |

| 項目<br>番号 | 質 問 要 旨   | 摘 要 |
|----------|---|-----|
| 1        | <p>道路陥没事故の対策について</p> <p>令和7年1月28日に発生した埼玉県八潮市の交差点道路陥没事故。交差点内に突如として現れた穴にトラックが転落し、その救助活動や応急復旧作業が連日多くのメディアに取り上げられました。</p> <p>この事故は、下水から発生した硫化水素が空気に触れて硫酸となり、管を腐食させて破損した事が原因とされています。市内の下水道管きょが設置されている道路でも、同様の事故が起こる可能性があります。</p> <p>この事故を受けて、国は1月29日に全国の下水道管理者に対し、同様の箇所の緊急点検を要請しました。</p> <p>平成31年頃から路面下の空洞調査を行っている稲城市においても、今回の道路陥没事故を受け、事故を未然に防ぐ更なる取組が必要と考えます。</p> <p>また、埋設企業者は様々ありますが、例えば下水道があります。稲城市下水道プランにおいて、令和2年度時点で築造後30年以上の管きょ116km及び、令和13年度に30年を経過する総延長213kmの管きょの記載がありますが、道路の維持管理及び点検方法、さらに大規模事故発生時の体制について市の見解を伺います。</p> |     |
|          | (1) 路面下の空洞化対策について   |     |
|          | ① 道路管理における空洞化調査状況について   |     |
|          | ② 稲城市下水道プランについて   |     |
|          | (2) 調査方法について  |     |
|          | ① 一次調査(面)の方法について  |     |
|          | ② 二次調査(点)の方法について  |     |
|          | (3) 補修工事の工法について   |     |
|          | (4) 今後の路面下空洞化点検の考え方について   |     |

|  |                     |  |
|--|---------------------|--|
|  | (5) 危機管理体制について      |  |
|  | ① 大規模事故発生時の初動体制について |  |
|  | ② 復旧工法などの選定について     |  |
|  | ③ 関係者間との連絡調整について    |  |
|  | ④ 大規模事故発生時の情報発信について |  |
|  | ⑤ 交通再開に向けた確認について    |  |
|  |                     |  |

| 項目<br>番号 | 質 問 要 旨   | 摘 要 |
|----------|---|-----|
| 2        | 三沢川さくら通りの桜の維持管理について   |     |
|          | <p>桜並木の名所として多くの市内外の方々が訪れる、稲城市が誇る三沢川さくら通りの桜並木。別名「三沢川さくら回廊」。1.7km にわたり約 280 本の桜が咲き誇り、三沢川桜・梨の花まつりでは多くの来場者が訪れる、季節の風物詩として親しまれております。</p> <p>一般的に、桜の代表的な品種であるソメイヨシノ(染井吉野)の寿命は約 60 年とされており、昭和 59 年頃から植樹された、市の桜の木々も樹齢が 40 年を越えてくる頃です。道路の根上がりも防ぎつつ、桜が毎年美しく花を咲かせるためには、適切な管理が必要と考えます。</p> <p>令和 6 年 12 月 11 日には、倒木の危険があるため、稲城市地域振興プラザ横の桜の木が伐採されました。</p> <p>日本人の心に特別な存在である「桜」、立派な桜並木を有する稲城市とは、今後の維持管理の方法によって、訪れる人々の心を豊かにする桜並木を、持続可能な観光資源として長く保つことを目的として伺います。</p> |     |
|          | (1)三沢川さくら通りの現状について  |     |
|          | ①三沢川さくら通りの桜の種類について  |     |
|          | ②伐採後の処理方法について   |     |
|          |   |     |
|          | (2)三沢川さくら通りの桜の維持管理方法について  |     |
|          | ①維持管理計画などの位置づけについて  |     |
|          | ②現状の維持管理方法について  |     |
|          |   |     |
|          | (3)三沢川さくら通りの桜の今後の取組について   |     |
|          | ①木の傾きに対する観測方法について   |     |
|          | ②木の傾きに対する対応方法について   |     |
|          |   |     |
|          |   |     |
|          |   |     |
|          |   |     |



| 項目<br>番号 | 質 問 要 旨  | 摘 要 |
|----------|--|-----|
| 3        | 三沢川(西の橋から矢野口橋間)の人道橋設置について  |     |
|          | <p>三沢川は川崎市麻生区黒川及び東京都町田市小野路町に源を発し、稲城市、川崎市多摩区を流下し、多摩川に合流する延長約 10.4 kmの一級河川です。</p> <p>総延長の約半分以上となる 5.7km が市内を流れ、稲城市と共に自然環境の一部として共生しています。</p> <p>矢野口地域の三沢川親水公園には公衆トイレも設置されており、晴れた日には多くの子どもや家族、団体が訪れ、賑やかな市民の憩いの場となっています。その一角にはアダプト制度を活用した、市民が管理する花壇があり、多くの人々はその周囲で休憩している光景が見受けられます。</p> <p>三沢川の右岸には矢野口根方地区、左岸には矢野口榎戸地区があり、この地域の橋梁は矢野口橋と西の橋の二つが市民の生活動線を形成しています。過去にはこれら二つの橋の間地点に橋梁設置の話があったと、地域住民の方々から伺っています。</p> <p>上記区間において 500m 以上の距離に橋梁が架かっていない状況を鑑み、今後のまちづくりの観点から人道橋の設置に関する市の見解を伺います。</p> |     |
|          | (1)三沢川の橋梁について  |     |
|          | ①稲城市中央土地区画整理事業などで整備された橋梁の間隔について  |     |
|          | ②西の橋から矢野口橋の間の橋梁の間隔について   |     |
|          |  |     |
|          | (2)西の橋から矢野口橋の間の人道橋設置について   |     |
|          | ①三沢川(西の橋から矢野口橋間)周辺道路の計画について  |     |
|          | ②人道橋設置に関わる諸課題について  |     |
|          | ③今後の予定について   |     |
|          |  |     |
|          |  |     |

| 項目<br>番号 | 質 問 要 旨   | 摘 要 |
|----------|---|-----|
| 4        | 農と食と健康を守る取組について   |     |
|          | <p>令和の米騒動は依然として続いており、国は備蓄米の放出を決定、野菜や卵の価格高騰なども含め、市民の安定的な食料確保が困難な状況です。</p> <p>市内公立学校においても、給食で提供する農作物に対し各地方自治体と連携し、質・量・価格など、安定的な供給の為の更なる取組が必要と考えます。</p> <p>大阪府泉大津市の「安全・安心な食糧の安定的確保に関する構想」は、全国9カ所(石垣市・旭川市・人吉市・香南市・南箕輪村・東近江市・日高川町・かつらぎ町・橋本市)と農業連携協定を結び、国内の食料自給率の低下による影響や、紛争等の国際情勢に伴う輸入途絶、異常気象による不作等に対応した安定的な食料供給の確保施策を行っております。</p> <p>さらに米の流通が不足する可能性を予測し、東洋ライス社と覚書を締結する取組や、「マタニティ応援プロジェクト」として、妊娠届出の翌月から出産予定月まで、妊婦とその家族に毎月10キロの金芽米を届ける施策を実施しています。これらは「医食同源」の理念に基づき、食の安全保障に関する取組と、自治体間などとの連携を推進しているものです。</p> <p>稲城市においても、食に関連する様々な施策や給食食材などの安定確保に向けた取組を、国の動向を注視しつつ、都市部の地方自治体として、実現可能な施策についての全体的な考え方を伺います。</p> |     |
|          | (1)学校給食における取組について   |     |
|          | ①現在の取組について  |     |
|          | ②今後の取組について  |     |
|          |   |     |
|          | (2)食を通じた産前産後施策について  |     |
|          | ①現在の取組について  |     |
|          | ②今後の取組について  |     |
|          |   |     |
|          | (3)農作物などの連携協定について   |     |
|          | ①現在の取組について  |     |
|          | ②今後の取組について  |     |
|          |   |     |

|      |        |         |
|------|--------|---------|
| 通告番号 | 会派名    | 氏名      |
| 15   | 改革未来の会 | 岩佐 ゆきひろ |

| 項目番号 | 質問要旨   | 摘要 |
|------|--|----|
| 1    | <p>自治会の支援について</p> <p>自治会は、地域コミュニティーの形成、安全・安心に暮らせる地域づくりには不可欠です。稲城南山東部土地区画整理事業地内は新たな地区となる事から新しい自治会の設立に向けて動いている地域もあると伺っております。そこで下記の点について伺います。</p> <p>(1) 市内の自治会の最新の加入率とそれに対する市の認識について</p> <p>(2) 現在、自治会を新たに設立する際の市の役割について</p> |    |
| 2    | <p>公共交通利便性の向上について</p> <p>令和6年、稲城市を走る路線バスの大幅な減便が行われました。またiバスは事業者から現行の7台から3台への減便要請があり、コミュニティバスの維持も難しい状況です。公共交通の利便性向上に向けて以下の点について伺います。</p> <p>(1) 都に財政支援を求める事についての市の見解について</p> <p>(2) 都と連携し自動運転バスを活用することについての市の見解について</p>     |    |
|      |  |    |
|      |  |    |

|      |       |       |
|------|-------|-------|
| 通告番号 | 会 派 名 | 氏 名   |
| 16   | 日本共産党 | 田島きく子 |

| 項目番号 | 質 問 要 旨   | 摘 要 |
|------|---|-----|
| 1    | <p>市民の命を守る国民健康保険制度に向けて</p> <p>(1) 市から都への国保事業費納付金の金額と一人当たり保険料額について<br/> ①令和7年2月6日東京都国民健康保険運営協議会で示された、「令和7年度確定係数に基づく納付金額」の稲城市の内訳と合計について聞きます。<br/> ②同協議会で示された「令和7年度確定係数に基づく1人当たり保険料額」の稲城市の令和7年度と令和6年度の金額と伸び率について聞きます。</p> <p>(2) 国民健康保険における「保険者努力支援制度」の内容について聞きます。</p> <p>(3) 国民健康保険制度は「相互扶助」ではなく「社会保障」であり、高すぎる金額の負担を下げる必要があるのではないかと考えますが、認識を聞きます。</p> |     |
| 2    | <p>選択的夫婦別姓制度について</p> <p>「選択的夫婦別姓」について多くの人たちが導入を求め、国会でも法律の改正が進みそうな状況です。選択的夫婦別姓の実現が必要であると考えますが認識を聞きます。</p>  |     |
| 3    | <p>「ジャイアンツタウンスタジアム」開業後の交通渋滞対策について</p> <p>(1) 現在でも週末になるとよみうりランド周辺の道路で渋滞が発生していますが、ジャイアンツタウンスタジアム開業後の渋滞対策について聞きます。</p> <p>(2) ジャイアンツタウンスタジアム開業後の駐車場の整備状況について聞きます。</p>  |     |

|      |        |       |
|------|--------|-------|
| 通告番号 | 会 派 名  | 氏 名   |
| 17   | 改革未来の会 | 榎本 久春 |

| 項目<br>番号 | 質 問 要 旨   | 摘 要 |
|----------|---|-----|
| 1        | 骨粗しょう症の取組について   |     |
|          | 骨粗しょう症は、骨の新陳代謝のバランスが崩れることで発症し、古い骨を破壊する細胞が、新しい骨を形成する細胞よりも活発になることで骨密度が低下するといわれています。国内の患者数は約1,590万人と推定され、男女ともに加齢とともにリスクが高まります。特に高齢者や閉経後の女性に多く見られますが、若年層でも栄養不足や特定の病気が原因で発症することがあります。そこで、骨粗しょう症に対する市の取組について伺います。 |     |
|          | (1) 骨粗しょう症の予防・啓発の取組について伺います。  |     |
|          | (2) 健康講座など地域への情報提供について伺います。   |     |
|          | (3) 医療機関との連携について伺います。   |     |
|          | (4) 転倒予防と生活支援について伺います。  |     |
|          | (5) 介護や福祉施策との連携について伺います。  |     |
|          |   |     |

| 項目<br>番号 | 質 問 要 旨   | 摘 要 |
|----------|---|-----|
| 2        | 介護保険サービスを利用する場合に重要な役割を果たしている要介護認定について   |     |
|          | <p>介護保険のサービスを利用するには、要介護認定を受ける必要があります。そのためには住んでいる市町村の窓口、または最寄りの地域包括支援センターに問い合わせ、申請を行います。また、介護認定には有効期間があり、継続してサービスを利用するには、更新審査を受ける必要があります。この点は、既にサービスを利用してきている方々には広く認識されていることと思います。要介護認定の決定は、介護認定審査会で行い、医療、福祉、保健の各分野の専門職種から選出され、訪問調査および主治医意見書に基づく一次判定をもとに審査を実施します。その結果を総合的に判断し、申請者の要介護度を最終的に決定します。近年、要介護者の増加に伴い、要介護認定の審査業務は多忙を極めてきているともいわれ、特に東京都内では、認定の判定遅れが目立つようになってきているとの指摘もあります。そこで、市の要介護認定について伺います。</p> |     |
|          | (1) 要介護認定の現状について伺います。   |     |
|          | ① 過去5年間の要介護認定申請件数と認定率について伺います。  |     |
|          | ② 申請から認定までは、平均でどのぐらいの期間を要するのか伺います。  |     |
|          | ③ 申請者や家族からの要介護認定についての問い合わせはどのようなものがあるのか伺います。  |     |
|          | (2) 訪問調査について伺います。   |     |

| 項目<br>番号 | 質 問 要 旨                                    | 摘 要 |
|----------|--|-----|
|          | ① 訪問調査の基本的な調査項目と認定調査員に必要な資格について伺います。       |     |
|          | ② 訪問調査の現状について伺います。                         |     |
|          | (3) 認定基準や審査の適正について伺います。                    |     |
|          | ① 要介護認定結果について納得が得られない方への対応について伺います。        |     |
|          | ② 認定審査会の公平性はどのように保たれているのか伺います。             |     |
|          | (4) 要介護認定後のサービス提供の状況について伺います。              |     |
|          | (5) 今後、要介護認定者が増加し審査業務が多忙となった場合の取組について伺います。 |     |

|      |        |          |
|------|--------|----------|
| 通告番号 | 会派名    | 氏名       |
| 18   | 改革未来の会 | いそむら あきこ |

| 項目番号 | 質問要旨   | 摘要 |
|------|--|----|
| 1    | <p><b>学校の適正配置について</b></p> <p>児童生徒数の推移や地域の実情を踏まえた学校の適正配置は、子どもたちによりよい学習環境を整える上で重要な課題です。その一環として令和7年度から通学区域が変更されることを踏まえ、見直しに至った課題やその影響について伺うとともに、市としての適正配置の考え方等について伺います。</p> <p>(1) 既に推計している地域ごとの児童生徒数の推移について伺う。</p> <p>(2) 向陽台小学校区・第三小学校区・城山小学校区の学区域のあり方について</p> <p>①向陽台小学校区及び第三小学校区から城山小学校区への通学区域の変更において、どのような課題があり、それを踏まえて学区域のあり方がどのように検討されたのか、改めて伺う。</p> <p>②通学区域の変更により、新たに城山小学校区の対象となった人数と、実際に通学する予定の人数を伺う。</p> <p>(3) 通学区域変更に関する住民説明会において、参加者から出された主な質問内容や意見等について伺う。</p> <p>(4) 通学区域の設定にあたり、特に通学の安全面について心配される保護者の方が多いが、どのように登下校時の安全面を確認されているのか伺う。</p> <p>(5) 稲城市立学校適正学区等検討委員会及び稲城市立学校学区変更検討会において、議事録が公開されていない理由について伺う。</p> |    |



| 項目<br>番号 | 質 問 要 旨  | 摘 要 |
|----------|--|-----|
|          | <p>(6) 市として、学校の適正配置を考えるにあたり、統廃合の議論を開始する明確な基準や判断のプロセス等があるのか伺う。</p> <p>(7) 保護者や子どもの希望により、指定された学校（指定校）以外の市立小・中学校への入学を申請できる「通学区域緩和制度」について認識を伺う。</p> <p><b>2 育ちやすい 育てやすいまちづくりについて</b></p> <p>少子化が進む中、子育て家庭を支援し、安心して子どもを育てられる環境を整えることは、持続可能なまちづくりの不可欠な要素です。特に、一時預かり事業の拡充や、新たに導入される「こども誰でも通園制度」は、保護者の多様なニーズに応え、子どもの健やかな成長を支える重要な施策であると考えます。</p> <p>そこで、一時預かり事業の拡充が必要と考え、以下の点について伺います。</p> <p>(1) 一時預かり事業の目的について改めて伺う。</p> <p>(2) 過去 3 年間の本事業の利用状況について伺う。</p> <p>(3) 本市の一時預かり事業は満 1 歳からを対象としているが、0 歳児の預かりニーズについて、どのように把握されているのか伺う。</p> <p>(4) 都内 26 市の本事業の対象年齢について、0 歳児からを対象にしている自治体数を対象月齢ごとに伺う。</p> <p>(5) 子育て支援の充実という観点からも、本事業の対象年齢を 0 歳児（生後 6 カ月など）に引き下げることが必要だと考えるが、対象年齢の引き下げの検討について認識を伺う。</p> |     |

| 項目<br>番号 | 質 問 要 旨  | 摘 要 |
|----------|--|-----|
| 3        | <p>(6) 例えば、あそびの広場向陽台など、保育園意外での本事業の実施の検討について認識を伺う。</p> <p>(7) 利用者の利便性向上や業務負担の軽減を図るため、利用申込のWEB予約システム導入の検討について伺う。</p> <p>(8) 2026年度から「一時預かり事業」と「こども誰でも通園制度」を同時に実施することについて、現時点での具体的な検討方針について伺う。</p> <p><b>3 妊娠期からの切れ目のない支援の拡充について</b></p> <p>妊娠・出産・育児において、母親や家族が安心して過ごせる環境を整えることは、子どもたちの健やかな成長を支える上で重要であると考えます。産後の心身の負担を軽減するための産後ケアや、流産や死産を経験された方への心のケアなど、妊娠期からの切れ目のない支援が求められています。</p> <p>本市においても、こうした支援の拡充に向けた取り組みが必要と考え、以下の点について伺います。</p> <p>(1) 産後ケア事業について</p> <p>①過去3年間の施設ごと（稲城市立病院及び稲田助産院）の利用状況と事業評価について伺う。</p> <p>②利用料の設定について認識を伺う。</p> <p>③現在、本事業は2施設で実施されているが、施設を増やすことについて認識を伺う。</p> |     |

| 項目<br>番号 | 質 問 要 旨   | 摘 要 |
|----------|---|-----|
|          | <p>(2) 周産期グリーフケアについて</p> <p>① 流産や死産などを経験された方のケアに関するニーズについて、どのように把握しているのか伺う。</p> <p>② 稲城市立病院でのグリーフケアについて、現在の取組みを伺う。</p> <p>③ 本市でのグリーフケアについて、現在の取組みを伺う。</p> |     |

|      |     |      |
|------|-----|------|
| 通告番号 | 会派名 | 氏名   |
| 19   | 稲志会 | 鈴木 誠 |

| 項目番号 | 質問要旨   | 摘要 |
|------|--|----|
| 1    | <p><b>稲城市の防災に関する取り組みについて</b></p> <p>先般2月11日に市内大丸地区で発生した建物火災は、同日の強風の煽りを受け、建物数棟のみならず遠隔地まで飛び火・延焼し甚大な被害をもたらした。幸いにも死傷者は出なかったわけであるが、原点に立ち返り市民の生命と財産を守り安心安全なまちづくりを進めることについて心新たにしたところであるが、</p> <p>(1) 被災後の対応（鎮火後～生活再建）について<br/>『失火ノ責任ニ関スル法律』では失火者ニ重大ナル過失アリとされ、隣家からもらい火をした時でも、火元である隣家住人に故意または重大な過失がない限り損害賠償を請求できないのが通例であり、近隣に安全性の低い建物等がある住民にとっては不安の種ともなっている。<br/>① これまでに市内における火災で重過失により火元側が損害賠償をしたケース等は把握されているか伺う。<br/>② 被災され、住む場所を失われた方々に対しては迅速な罹災証明書の発行が必須であるが、稲城市としてはどのように対応されているか伺う。<br/>③ 稲城市災害弔慰金、災害援護資金の紹介から支給・貸付決定までのプロセスと標準的な必要期間を伺う。</p> <p>(2) 空き家・枯草放置等への対応、指導等について<br/>そもそもであれば、火災自体が起きないことが一番である。だが、市内を歩いていると木造の古びた空き家であったり、枯草が繁茂した荒れ庭、その他家屋回りに燃えそうな物がある等が散見される。平成30年第4回定例会以来久しぶりの確認ともなるが、<br/>① 火災予防上の問い合わせがあればそれぞれの建物所有者に適切な対応をお願いし、その後に追跡調査も行っているとのことであったが、最近の傾向について伺う。<br/>② 稲城市火災予防条例、稲城市空き地の環境保全に関する条例らにおいて、犯罪または火災の発生ならびに非衛生的等の市民生活のうえで支障がある状態と判断した場合は指導または勧告出来るとしているが、これまでにどのような事例があるか伺う。<br/>③ 同じく空き家、或いは現住家屋に対してはどのように指導または勧告等行われているのか伺う。<br/>④ 違法な野焼きをした場合は廃棄物処理法違反となり、5年以下の懲役もしくは1000万円以下の罰金またはこれらが併科されるが、こうした事案は市内で発生したことはないか。不法投棄等と併せ、こうした周知は市としてどのように行っているか伺う。</p> |    |

| 項目番号 | 質問要旨  | 摘要 |
|------|---|----|
| 2    | <p><b>公道上への迂回路・案内標識等の設置について</b></p> <p>計画よりだいぶ遅延してはいるものの、お隣りの川崎都市計画道路3・4・9号尻手黒川線は、東京都道・神奈川県道3号世田谷町田線と交差する片平2丁目交差点先のトンネル工事が進み、来年春までには工事完成と明示されている。これにより東名川崎インター方面へは尻手黒川線を利用してもらうよう誘導し、平尾中央通りの渋滞緩和を図りたいところである。また、南山東部土地区画整理事業の進展により多3・4・12号読売ランド線、中央自動車道稲城ICから直結する多7・4・5号東長沼矢野口線も開通が見えているわけだが、TOKYO GIANTS TOWN開業や従来のおよみうりランドジュエルミネーション開催期間の混雑を考えると、こちらにも迂回路等の標記が必要になるか考える。</p> <p>(1) これまでにおいて、稲城市内の公道上へ迂回路や案内標識等を設置したことはあるか伺う。</p> <p>(2) 稲城市として市道上に何らかの施設に対応した標識を設置させる許可（道路の占用）はどのように行っているか伺う。</p> <p>(3) 若葉台入口交差点や、上平尾消防出張所前交差点などの尻手黒川線に迂回出来る箇所に迂回誘導するような案内標識を設置することは可能であるのか伺う。</p> <p>(4) 東京ディズニーリゾートへ向かう国道357号線東京湾岸線の案内標識群は有名だが、お隣りの多摩市においても『ハローキティに会える街』を標榜し、都道158号小山乞田線多摩ニュータウン通り上にサンリオピューロランドへ向かう公的な案内板を設置している。どこが費用を負担するかという問題はさておき、こうした試みがジャイアンツホームタウンである我が市としても行われて良いか考えるが、市の見解を伺う。</p> |    |
| 3    | <p><b>平尾地区の諸課題（商業・防犯）について</b></p> <p>去る2月6日（木）、平尾団地商店街内のスーパーヤマザキ平尾店跡地にイオングループの『まいばすけっと』が入る旨の報告を東京都住宅供給公社の店舗営業係から受けた。しかしこの無店舗の間には各ご家庭が宅配サービスに加入するなど対応して来たため長期に渡る客入りも心配される。また、私の近所でもとうとう侵入窃盗事件が発生し、闇バイト等と相まって不在がちな平尾交番については地域住民から引き続き早期改善の意見が出ている。</p> <p>(1) 移動販売協力車の対応について<br/>稲城市として買い物難民対策として移動販売車の協力取り付けなどを鋭意進めていただいていたが、今回の実店舗参入によりこれまでの協力事業者を含めてどのような対応をするのか伺う。</p> <p>(2) 平尾交番の常駐化について<br/>これまでに取り上げ続けている同伴、令和5年第3回定例会以来1年半ぶりの確認となるが、その後の進捗状況、特に警視庁側の手ごたえに変化はないのか改めて伺う。</p>   |    |